



厚労省

「人材開発支援助成金」
対象範囲拡大！大企業も
対象になりました！

第19回 BPR (業務再構築) 責任者養成塾

— 「在庫20%・人件費8%・材料費1%」削減 (利益率5割UP) する方策を学ぶ！

・ERP導入の9割が失敗！

・幹部社員育成と管理技術で利益率5割UPを実現する「塾」です

受講対象者 (工場長、生産管理・製造・品質管理・営業の各部門管理職、実務経験5年以上の工場スタッフ)

- ・ERP (生産管理パッケージ) を導入したが、「効果」の実感の無い企業
- ・コンピュータのハード、ソフトを何度も入れ替えたが、「効果」の実感が無い企業
- ・「属人性」の強い業務が多く、改善改革が遅れ、代替人材不足で不安な企業
- ・基準・標準が重要と認識しているが、整備に「長期間」かかると認識している企業
- ・「利益率」が低く、残業も多く「働き方改革」を目指す企業

管理技術による利益 一売上比2%の新たな利益 ("経常利益率の5割増")

【効果のモデル】

(例)年間売上高 100億円程度の企業

	内 容	計算式	予想利益	経験値
1	材料費の削減	50億円×1%	5,000万円	} 8~15%
2	在庫金額の削減	7億円×20% ×20%	2,800万円	
3	間接要員の能率向上 (製造)	2億円×20%	4,000万円	
4	間接要員の能率向上 (事務)	3億円×10%	3,000万円	
5	直接人員の生産性向上	10億円×5%	5,000万円	
			19,800万円	

- 注1) 上記は1年間のメリットで、この利益は継続的に実現する。(定着化が続く限り)
 注2) 上記は金額換算出来る項目で、受注納期短縮、多産少量生産の実現、納期回答の迅速化、見積書の迅速化、製造期間の短縮、クレームの減少等々の金額換算出来ない経営効果もある。注3) ビジネスモデルの高度化・人材育成効果が大きい！！

日時・開催方法

- 日 時 : 2019年9月17日-2019年12月17日 毎週火曜日 全12回14:00~17:00 (別添のカリキュラムを御参照下さい。)
- 方 法 : TV会議方式オンラインセミナー (定員5社 限定)
- 受講料 : 15万円/人 (「厚生労働省人材開発支援助成金」の対象講座。(後述参照))
- 申込締切日 : 2019年8月16日 (金曜日) 助成金申請のため締切日遵守ください (申請手続きは、お手伝いします)

本講座の開講目的

弊社は「製造業の競争力強化」を社是としております。

製造業においてはERP (生産管理パッケージ) の導入が盛んです。しかし、導入企業の9割以上が「失敗」に終わり、投資金額と投入時間の無駄が続いています。

失敗要因は「管理技術の知識不足」と「開発方式の違い」及び「人材育成の不足」です。

本講座は、これに正しい「解」をご提供いたします。

塾長 八木 弘泰

[本講座の特徴] **一標準化の実務演習が大人気一**

「実際原価」は
ウソの原価です！



では、「真の原価」
は、どのようにして
求めるのですか？

**リアルタイムで質問も出来る
“双方向型”の「塾」です。
移動時間も不要！**

※口頭でのご質問、その場からのチャットも可能
(Googleハンガアウトを使用)
※双方向対話型講習と御社の課題解決の為、補講を
重視するため[5社限定]での募集となります。

演習で実感してみませんか？

「管理技術」を使えば、基準・標準化は、容易に設定できる！

作業標準演習

工程管理の基本である
作業標準・標準時間の
設定を作業分析ソフト
を使用して特定品目の
設定を演習します。

保管管理演習

保管管理が不備では在庫
管理は出来ない。御社の
倉庫を対象にロケーション
を演習で設定します。

原価チャージ演習

「時間当たり単価」の設
定が出来てない企業が
多くなっています。御社
のチャージ(賃率)設定
の演習をします。

「管理技術塾」の概要 (今回と以降のカリキュラム)

今回講座

工場のしくみから、生産管理の
ビジネスプロセス、業務・業態知識
までを学びます。

業務知識

業務再構築(BPR)は「ICT技術」と「業務知
識」を習得しても実現出来ません。
「業務毎の正しい目的・方法・手順」(管理
技術)を基礎から学び、BPRを実現します。

原理原則編

次回講座

分析・設計編

分析・設計・定着化・効果測定技術を認
識し「業務再構築の本質」を学びます。
ウォーターフォール開発の間違ひは、今
回学び、具体的な方法・手順・道具は次
回の「分析・設計編」で行います。

実務・設計編

原理原則編で学んだ「管理技術」の応用編
演習中心。実務設計を学び顧客の抱える
問題点を解決する具体的な
IT設計+管理技術設計を学びます。

事前サポートサービス(必要時)

1. 必要機材の無償貸出 2. 事前接続テスト の実施

ご用意頂く物：

1. パソコン、インターネット環境 (御社で御準備願います)
2. マイク内蔵型のWEBカメラ (無償貸与致します)
3. スピーカー又はイヤホン (無償貸与致します)
4. Googleハンガアウトのインストール (無償サポート致します)

推奨要件：
・クアッドコアプロセッサ Windows8以降のOS
・3.2mbps/4.0mbps (上り/下り) の
高速ブロードバンド環境



株式
会社

管理技術ラボ

FAX番号：0798-55-8779

必要情報ご記載後、上記FAX番号までご返信ください
または、メール「asguide@kan-lab.com」宛に申込可能です。

セミナー参加希望の方は必要事項をご記入の上、FAX送信いただくか、メールにてお申し込みをお願いいたします。
なお、誠に勝手ながら満席になり次第、申込を締め切らせていただきますので、ぜひお早めにお申し込みください。
申込締切日：8月16日(金)

参加ご希望記入欄	<input type="checkbox"/> 受講する			<input type="checkbox"/> 詳しい説明を聞きたい		
貴社名(必須)	ふりがな					
ご住所(必須)						
TEL(必須)			FAX			
部署・役職名						
ご芳名(必須)	ふりがな					
E-Mail(必須)						
部署・役職名						
ご芳名(必須)	ふりがな					
E-Mail(必須)						
部署・役職名						
ご芳名(必須)	ふりがな					
E-Mail(必須)						

【お客様の個人情報の利用目的】
 お客様がご記入頂きました個人情報は、本セミナー資料・受講票の送付および、弊社セミナーのご案内送付以外に使用いたしません。
 また、第三者にこれを開示することはいたしません。
 お客様が記載された情報は、(株)管理技術ラボの個人情報保護ポリシー(<http://www.kan-lab.com/policy.html>)に基づき、適切に管理いたします。

同意する

塾長

八木 弘泰

中小企業診断士
特種一種情報処理技術者



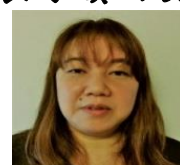
講師

吉川 正一



講師

長町 真由美



講師

八木 進也



50年間、6百社に及ぶ企業の業務再構築指導に従事し、又、企業診断業務は2千社を超える実績を持つ。IT技術+「管理技術」で年商比2%の「新たな利益」の実現を目的に業務再構築指導で活動している。1970年代に「死語」化した「管理技術の復興・普及」をライフワークとし各地でのセミナーは年間30回以上に及ぶ。

40年間、コンサル・SE経験を持ち、製造業を中心に数百社の業務再構築に従事、複雑系の仕組を「科学化」する才能の持ち主。「管理技術で利益の獲得」を担うASGUIDEツール開発の責任者(経産省システムアナリスト)

業務再構築指導は20年間に及び、指導実績も加工業から再生医療企業までの広範囲。職務分析技法の特許を取得(ITTVC認定 ファシリテータ)

作業改善をベースとした標準時間の設定、在庫動態分析からのロケーション設定等々の「標準化・標準化」を専門とする管理技術コンサル

CHECK 厚生労働省 人材開発支援助成金について

当該講座は「助成金」対象講座で、受講前の申請により助成があります。(受講料の半額弱の助成)

* 大企業は今年から対象になりました。

参考HP: [厚生労働省「人材開発支援助成金」](#)



不明点はお気軽にお問い合わせください。



セミナーに関するお問い合わせ先

「塾」の運用企業



株式会社

管理技術ラボ

Art & Science

TEL: 0798-77-2667

FAX: 0798-55-8779

URL: <http://www.kan-lab.com>

e-mail: asguide@kan-lab.com

[BPR（業務再構築）責任者養成塾]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
1	09/17(火) 14:00 ～17:00	キックオフ 管理技術による利益の獲得	1、ご挨拶（開講にあたって） 2、管理技術による利益の獲得 管理技術とは 1) IT投資の採算性と失敗要因 2) テーラーの法則 3) 管理技術による利益の獲得 3、管理技術の例示
2	09/24(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 (生産計画、資材計画)	1、業務毎の管理技術（生産計画、資材計画） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 (計画立案・検証・MRP・製番管理等) 3) 業務フロー説明（ASGUIDE分析記号にて） 4) アウトプットの例示 5) 演習
3	10/01(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 (購買管理、在庫管理)	1、業務毎の管理技術（購買管理、在庫管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 (内示、支給品、出庫指示、循環棚卸等) 3) 業務フロー説明 4) アウトプットの例示 5) 演習
4	10/08(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（工程管理）	1、業務毎の管理技術（工程管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 (負荷山積み、作業指図・実績、作業指導等) 3) 業務フロー説明 4) アウトプットの例示 5) 演習
5	10/15(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 1. 作業管理 2. 保管管理	1. 作業標準/標準時間の設定 1) IEの基本（モーションマインド・動作経済の原則） 2) 作業標準・標準時間の定義と設定 3) 設定の方法手順 2. ロケーション管理 1) 定位置管理の設定方法 2) 設定手順
6	10/29(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術（部品表管理）	1、業務毎の管理技術（部品表管理） 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 (結合部品表、設計変更と手配切替、コード等) 3) 業務フロー説明 4) アウトプットの例示 5) 演習課題説明

[BPR（業務再構築）責任者養成塾]カリキュラム

回数	日程	教育名	教育内容
7	11/05(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 (受講企業毎の基準・標準化の 実務演習) 演習	1、業務毎の管理技術 (工程管理、在庫管理、原価管理) (演習)
8	11/12(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 (受注出荷管理、品質管理)	1、業務毎の管理技術 (受注・出荷管理、品質管理) 1) 業務毎の目的・課題 2) 管理方式の説明 3) 業務フロー説明 (受注の定義、検査指図/合否判定、ロット廻り等) 4) アウトプットの例示 5) 演習課題説明
9	11/19(火) 14:00 ～17:00	業務毎の管理技術 (原価管理)	1、業務毎の管理技術 (原価管理) 1) 業務毎の目的・課題 2) 原価管理とは 3) 財務会計と原価管理 4) 管理方式の説明 (チャージ計算、原価差異) 5) 業務フロー説明 6) アウトプットの例示
10	11/26(火) 14:00 ～17:00	生産管理のICT事例 (学習ライブラリで疑似体験)	1、生産管理の事例 (ICT機能とマンフロー) の理解。ICTと人の役割をイメージする。 (生産計画の立案、MRP他を演習)
11	12/03(火) 14:00 ～17:00	分析・設計・定着化・効果測定技術 の概要	1、ASGUIDEの現状分析技術の概要 1) 問題点の棚卸「現状分析の手法」 2) ルーティンワークの設計「基本設計の手法」 3) 例外処理と人の行動設計「詳細設計の手法」 4) ノウハウの科学化「データ構築の手法」 5) 設計通りに運用しない「定着化の手法」 6) 経常利益5割UP「効果の測定手法」 7) コンサルタントが持つべき「姿勢・心」
12	12/17(火) 14:00 ～17:00	管理技術 原理原則編のまとめ	1、成果発表 2、原理原則のまとめ